

# デイサービスに必要な 生活行為向上リハビリテーション

社会福祉法人 さつき会 在宅介護支援課  
理学療法士 大矢 敏之

# はじめに

- 平成27年度介護報酬改定にて、通所リハビリテーション事業所で、「生活行為向上リハビリテーション実施加算 2000単位/月」が新設され、生活機能を回復させ、生活行為の充実を図ることが求められている。
- その背景には国際生活機能分類(ICF)の「心身機能・身体構造」が現場で重視される傾向にあり、「活動(課題や行為の遂行)・参加(生活、人生場面への関わり)」を向上をさせるリハビリテーションが十分に行われていない現状。
- 当デイサービスでも、「心身機能」を向上させるプログラムを多く実施していたが、「活動・参加」に注目したサービスを展開していなかった。

そこで…

通所介護にこの加算はないが、今後の介護保険改定の際には通所介護にも求められるものと考え、当施設にて「生活行為向上リハビリテーション」を「パークゴルフ場の建設」という作業活動を通して実施したので報告する。

# 生活行為とは？

- 人が生きていく上で営まれる365日，24時間，連続する生活全般の行為のこと。  
(作業療法用語集より)



# 生活行為向上リハビリテーションの考え方

生活は「その人にとって意味のある生活行為の連続」から成り立っており、その生活行為へ参加することで、満足感や充実感を得て、「健康」であると実感。

そのためには・・・

人間を「心身機能などのパーツ」で理解せず、「心身機能から人生」まで、生きる上で営まれる「生活する人」として包括的に捉えることが必要。

そうすることで・・・

利用者を積極的に「活動・参加」へ促すことができる。

(参考資料:作業療法士のための生活行為力向上プログラム講習会 厚生労働省老人保健課 村井千賀)

# 生活行為を改善するためには「作業」が必要

- すべての生活行為は、「作業」から成り立っている。
- その「作業」は、様々な生活行為と重なり、「作業」を行うことでしか生活行為を改善することはできない。



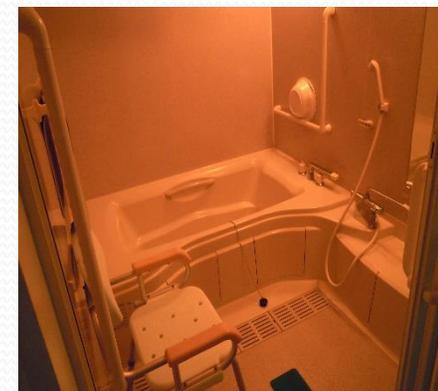
**「十分な筋力」があっても、生活行為に適した作業を遂行するための「正しい使い方」ができなければ、生活行為は改善しない。**

(参考資料:作業療法士のための生活行為力向上プログラム講習会 厚生労働省老人保健課 村井千賀)

## <生活行為の例:「入浴」を見ていきましょう>

いくら筋力があっても、以下の「作業」ができないと風呂に入れない！

- ① 風呂に入る……「認知力・現実見当識」
- ② タイルの上……「移動能力」
- ③ 浴槽の高さ……「またぐ能力」
- ④ 浴槽につかる……「姿勢変化能力」
- ⑤ 湯船につかる……「体力」
- ⑥ 衣服をつかむ……「つまむ・握る能力」
- ⑦ 衣服脱着……「手足を曲げ伸ばす能力」
- ⑧ 着る順序……「手順理解・認知力」



- 生活行為を向上するためには、「**作業**」をリハビリテーションとして提供しなければならない。

# デイサービスの問題点

- 運動器具・体操・手先の活動は充実し、「心身機能」へのリハビリテーションアプローチは実施できているが、「生活行為」を向上するためのリハビリテーションプログラムが提供できていない。



# 生活行為向上リハビリテーションプログラムの実施

- デイサービスの中庭に広大な芝生があるが、利用者が屋外に出て活動するという習慣はなかった。



もったいない！



- そこで、「パークゴルフ場の建設」という作業活動を通して「**様々な生活行為**」の向上ができないか？と考えた。

# どうしてパークゴルフ場建設が、入浴動作を改善できるのか？

## 入浴動作とパークゴルフ場建設作業における共通項



風呂に入る

タイルの上

浴槽の高さ

浴槽につかる

衣服をつかむ

衣服脱着

着る順序

風呂も体力

認知力  
現実見当識

移動能力

またぐ能力

姿勢変化能力

つまむ・握る能力

手足曲げ伸ばし  
能力

手順理解能力  
認知力

心肺機能力

パークゴルフ場を  
作る

凸凹の芝の上

様々な機材の  
使用(コード等)

芝生にしゃがむ

ネット張り

穴掘り

準備  
片付け

有酸素運動

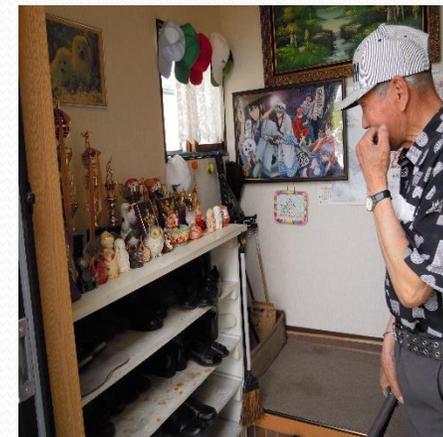


# 経過

パークゴルフ場を建設する「作業」を通し、生活行為を遂行するための「能力」へアプローチを実施。

「パークゴルフ場を作るぞ」  
という気持ちの変化

認知力  
現実見当識



凸凹の土，芝の上を歩く

移動能力



様々な機材の使用  
(コードの使用)

またぐ(片脚立位)能力



芝生にしゃがんで  
ハンマーたたき

姿勢変化能力



電動ドリルで穴掘り

手足曲げ伸ばし能力





ネットを縛り付ける

つまむ, 握る能力



準備～片付け

手順理解力, 認知力



有酸素運動

心肺機能力



# 結果

- 生活行為を遂行するための「能力」を向上させるため、「パークゴルフ場の建設」という「作業」を通してアプローチすることができた。



オープニングセレモニー♪



青空の下でプレー中！



歩行車でも、ゴルフしたい！

# 考察

- パークゴルフ場の建設から運用までを「作業」として捉えアプローチしたところ、従来のデイサービスでは見ることが出来ない利用者の動作を引き出すことができたと考える。



- 筋力や関節可動域を改善するためのリハビリ機器や体操等の取り組みでは誘発することの出来ない動作を、「**楽しみながら**」実施できたと考える。



# 課題

- パークゴルフという作業活動を通して、生活行為を向上する「取り組み」を行うことはできたが、この作業活動が個々の利用者にどのような「効果」をもたらすことができたか？の「検証作業」をすることが必要。

- 1, Franchy Activity Index:IADLの評価
- 2, Barthel Index:ADLの評価
- 3, 老研式活動能力指標(知的能動性,社会参加)
- 4, 主観的健康感
- 5, 介護度の変化

# 結語

- リハビリ資源が乏しい地域では、「作業の専門家である作業療法士」を確保できている場合は少ない。
- しかし、「活動・参加」を促すためには「理学療法士」が他職種と協力し「**身体機能の回復から、人生の回復**」までを支援できるサービスを提供する必要がある。
- リハビリ資源が乏しい地域でも理学療法士，作業療法士，言語聴覚士が存在できる制度，政策を期待する。



ご静聴ありがとうございます。